

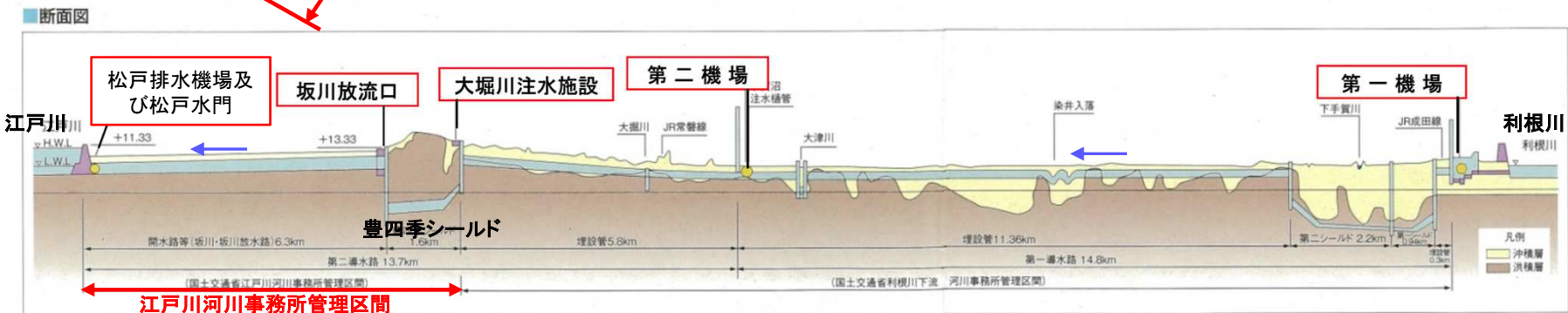
「利根川下流及び霞ヶ浦におけるカワヒバリガイ対策にかかる意見交換会」資料

資料8

北千葉導水路(江戸川河川事務所管内)における カワヒバリガイの状況

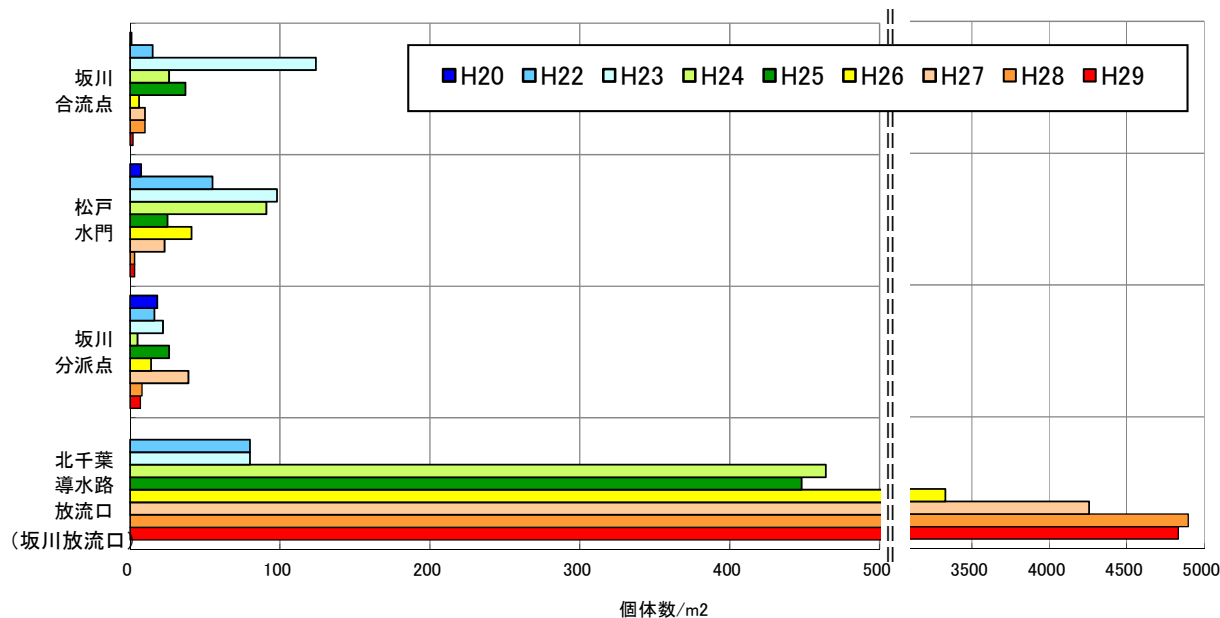
平成31年2月22日 江戸川河川事務所

北千葉導水路の施設配置



カワヒバリガイ生息状況(坂川)

- 北千葉導水路放流口(坂川放流口)では、カワヒバリガイの個体密度が増加傾向にあり、平成29年度の個体密度は前年並みであった。
- 一方、坂川分派点、松戸水門、坂川合流点(江戸川)の3地区では増加傾向はみられず低水準のまま推移している。



カワヒバリガイの個体密度(個体/m²)の経年比較(平成20~29年度)



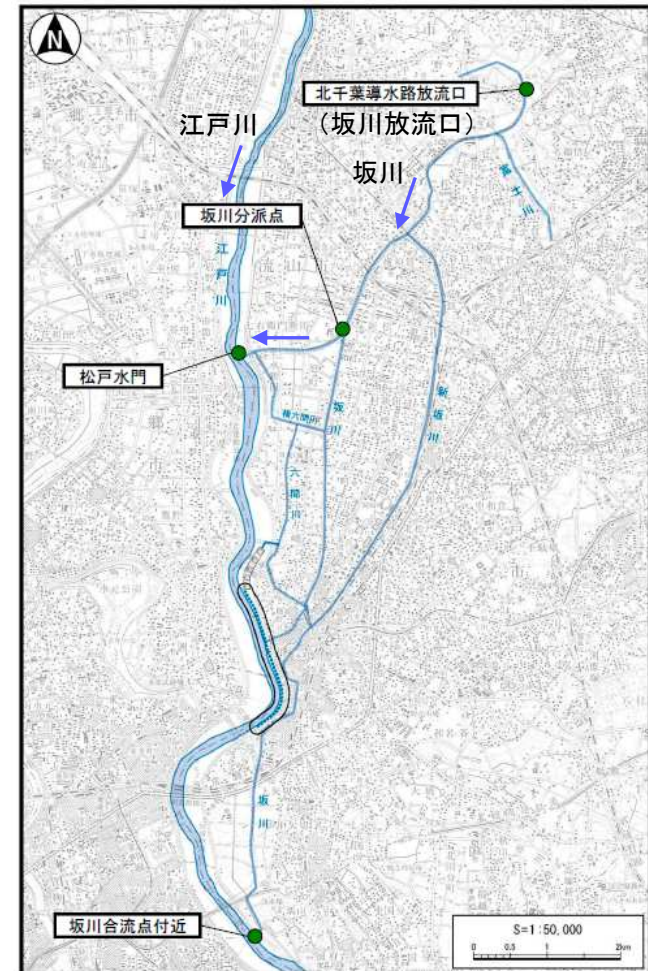
コドラート調査(北千葉導水路放流口)



カワヒバリガイの確認状況
(河床の転石)



ジョレンを用いた採取(坂川合流点付近)

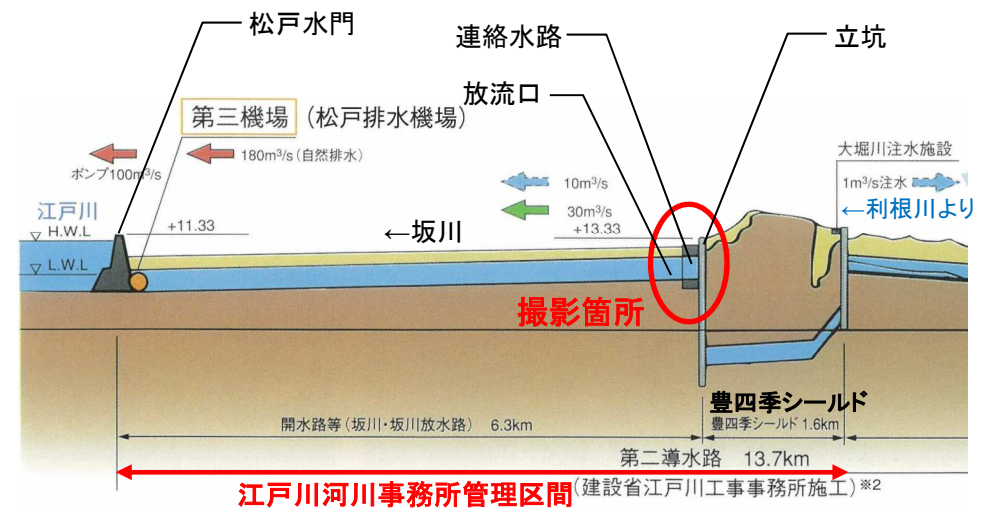


調査地点位置図

状況写真(坂川) ①

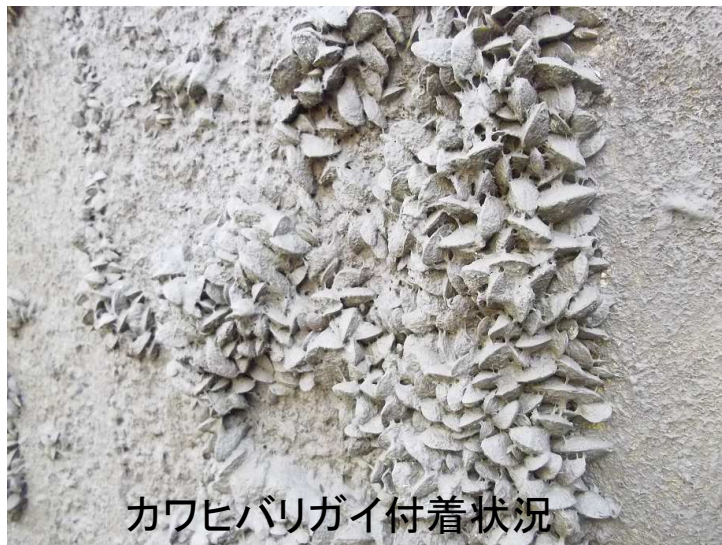
■ 豊四季シールド立坑～坂川放流口

※導水運転停止時に撮影(H30年11月)



■松戸水門地点(江戸川合流点)

※耐震対策工事施工中に撮影(H30年2月)



- 坂川においては、既往調査等でカワヒバリガイの生息が確認されているが、現状では施設管理上の問題は生じていない。
- 今後もモニタリング調査を継続していく予定。